

## グローバル調査：従業員へのコンシューマ IT 技術の提供が、多くの企業の売上・利益・従業員満足度を向上

先進的な企業は業務アプローチ、業務プロセスを変え、業績を向上

【2013 年 1 月 29 日】アバナードは世界 19 か国 600 人の CxO レベル役員及び IT 責任者に調査を実施した。調査結果は、コンシューマ IT 技術の企業内導入が拡大し、それがビジネスの手法および業績に大きなインパクトがあることを示している。

これまでは、ビジネスの要件が企業内で利用される IT 技術を決めていた。経営トップは IT 投資を、企業のニーズや目標に基づき決定していた。例えば、新たな規制が電子メールのアーカイブシステムの導入の同期となり、顧客情報の増大が CRM による一元管理をもたらした。しかし、モバイルやコンシューマ IT の分野では特に、IT 技術の採否を左右する力が企業側から従業員側へとシフトしつつある。アバナードの調査は以下のような結果を示している。

- 企業の多くが、モバイルやコンシューマ IT を排除するより、活用を進めている。
- 先進的な企業は、モバイルやコンシューマ IT の浸透がもたらす成果を獲得するために、従来のビジネスの方法を大きく変革している。これをアバナードでは“Work Redesigned”と名付けている。
- モバイルやコンシューマ IT に対する見方に、経営トップと IT 部門の間で大きな差がみられる。この意識の差が、モバイルやコンシューマ IT 導入によるビジネス変革の最大の障害となっている。情報セキュリティはしばしば新技術を採用する上での障壁となるが、この点でも経営トップと IT 責任者の対立点となっている。

調査結果の詳細については、[www.avanade.com/workredesigned](http://www.avanade.com/workredesigned) を参照してください。

※英文元原稿

<http://www.avanade.com/us/about/avanade-news/press-releases/Pages/global-survey-companies-enable-employee-use-of-consumer-technologies-report-positive-impact-on-sales-page.aspx>